

# 江東区清掃事務所の 職員体制の現状と課題

### 製品プラの回収開始 と指導班の増員

江東支部は現在、統括技能長2名、技能長21名（B技能長（定数外）13名・C技能長（定数内）8名うち担当技能長3名）、収集職員92名、運転職員11名、再任用職員10名（収集職員6名、運転職員2名、担当技能長1名本庁勤務）、計135名の人員配置です。

作業実態は、「可燃班」として小プ・小特23組（直営S12組・車付S6組W5組）、新大14組（直営S7組・車付S7組）、「可燃班」としてW4組体制、直営小プ5台、雇上（小プ2台・小特1台）、軽小4台（蛍光管・スプレー

### 担当技能長の配置と新規採用

「容器班」は10月より製品プラと混載回収を開始します。それに伴い、開始後はS11組に増車し

「容器班」は10月より製品プラと混載回収を開始します。それに伴い、開始後はS11組に増車し

「容器班」は10月より製品プラと混載回収を開始します。それに伴い、開始後はS11組に増車し

「容器班」は10月より製品プラと混載回収を開始します。それに伴い、開始後はS11組に増車し

「容器班」は10月より製品プラと混載回収を開始します。それに伴い、開始後はS11組に増車し

「容器班」は10月より製品プラと混載回収を開始します。それに伴い、開始後はS11組に増車し

No.51

## いま 清掃事業は・・・ 江東区



「容器班」は10月より製品プラと混載回収を開始します。それに伴い、開始後はS11組に増車し

「容器班」は10月より製品プラと混載回収を開始します。それに伴い、開始後はS11組に増車し



職員と車付雇上の違いを訴え、「職員でなければ」ということを理解させる

## 全国の仲間と事例を共有し 課題の克服を！

### 自治労第4回現業政策集會に参加



▲清掃部会報告（西村副委員長）

自治労現業政策集會が7月22日（土）～23日（日）にかけて愛知県・名古屋市において開催され、全国から786人（対面739人、web48人）が参加しました。

1日目の全体会では、あいさつ・基調提起の後に講演①として競泳元日本代表の星奈津美さんを講師に招き「競泳人生で学んだ大切なこと〜心も身体も健康であること〜」をテーマに行われました。星さんは、1歳半から水泳を始め、16歳で患ったバネドウ病のため一時的に競泳を離れるも、苦難を乗り越え2012年

2日目は各職種部会のテーマに沿った分科会が行われました。清掃分科会では、最初に「これからの環境廃棄物行政」デジタル・AI活用によるごみ減量と住民サービスの向上」と題し、立教大学准教授の藤井誠一郎さんの講演がありました。神奈川県・座間市で導入されている「WOMS」というシステムについて、

「清掃事業の発展に向け取組を進めていく」との報告がありました。

最後に、講演②として防災都市計画研究所の吉川忠寛さんを講師に招き「自治体業務継続計画（BCP）の実効性を考える」をテーマに行われました。講演では、具体的な例として学校



▲パネラーの方々

「清掃事業の発展に向け取組を進めていく」との報告がありました。

最後に、講演②として防災都市計画研究所の吉川忠寛さんを講師に招き「自治体業務継続計画（BCP）の実効性を考える」をテーマに行われました。講演では、具体的な例として学校

（泉田 和明）

### （ひとこと）

大田区は中執の選出が前期でできませんでしたが、またその期間中、次の中央執行委員になる人材を育てることができませんでした。

今期、退職間近の私の中執にならなければならぬという状況は、現時点においてもできていないと言わざるを得ません。

しかし次期中執には大田区の交渉をしっかりと引き継いでいく人材を育てなければいけないと思っております。

組織集會でのテーマでもあった「持続可能な労働組合」にするため、任期中に若手の育成や中間層への引き継ぎをすることに全力を注ぐ所存です。

中央執行委員の業務も分からないことだらけですが、皆さんの後姿を見て学んでいきますのでよろしくお願いたします。

（大田区担当中執  
鈴木 唱司）

